

(101) 栃木県河内郡の関白鉱山

この鉱山は現在でも稼業中である。焼き物などの原料であるカオリナイトを露天掘りで産出している。露天掘りの現場はそれ程多くはない。産物のカオリナイトには、鉱石としての魅力をそれ程感じなくても、露天掘りの現地は一見の価値はある。鉱山地区内に入る場合には、当然ながら、現地の人々の指示に従うこと。現地は、東北道の上河内SAから北西方向に、約2 kmの所である。上河内SAを出たならば、159号に入り、北西方向に進んでいけばよい。

図1中のA点の所が、関白鉱山の入口である。稼業中では、入口で許可を得る必要がある。B点からは歩いて、C点付近まで進むことができる。BC線の左側の箇所は、既に、荒涼とした廃地となっている。C点当たりからでも、露天掘り鉱山の様子をうかがい知ることができる。周り一面にカオリナイトが落ちている。

探査日 2011年 9月

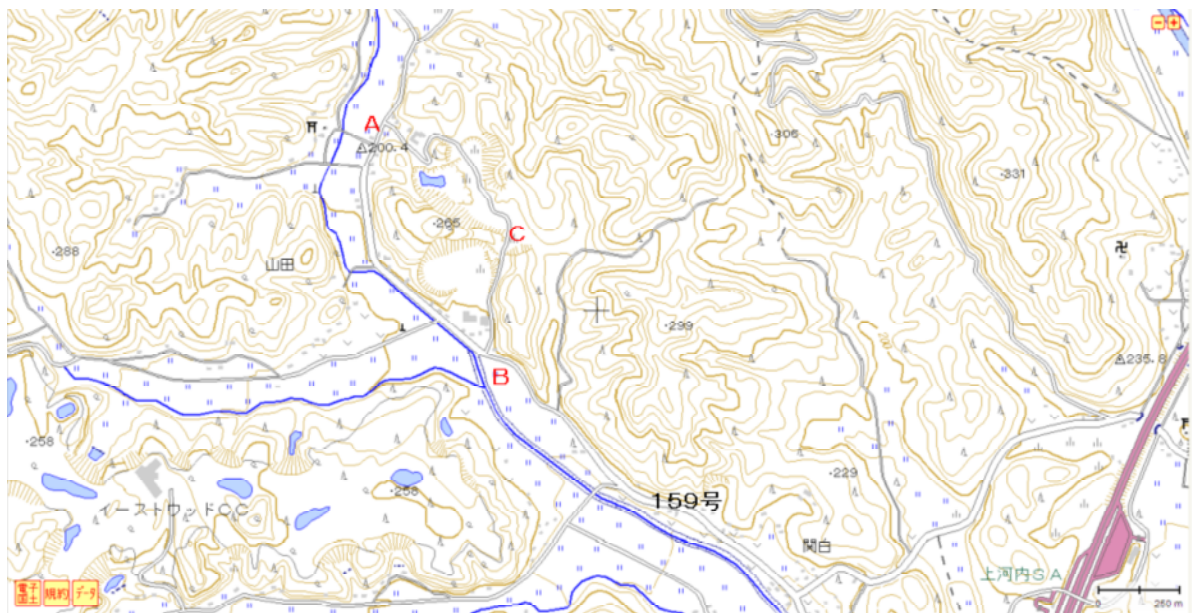


図1 国土地理院の地図サービスホームページより複写掲載。ACを結ぶ中間あたりが、現業している巨大な露天掘りの現場である。



図2 関白鉾山付近をGoogle Earthより複写掲載。中央下あたりから、右端上部に延びている直線道路が東北道。途中にあるレストラン記号のある所が、上河内SA。目的地の関白鉾山は、左上にある白い大きな部分。図1と対照させることができる。

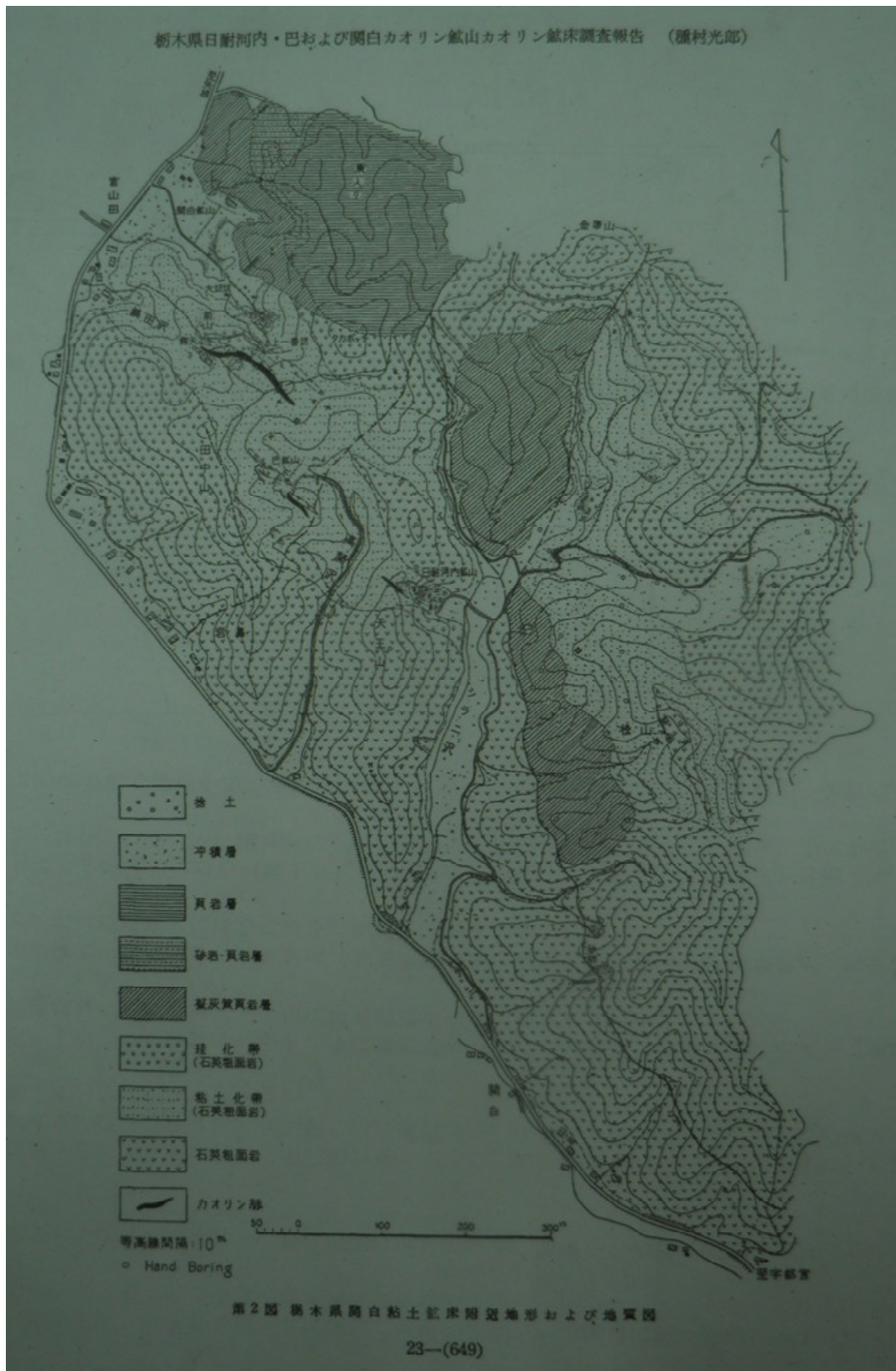


図3 参考文献(1)より複写掲載。図1の地形図、図2の空撮図と対照すると、159号の右側部分だけの地質図となっていることがわかる。この付近には、カオリナイト鉱山として、関白鉱山、巴鉱山、日耐河内鉱山の3鉱山がかってあったことが分ける。関白鉱山には2ルートから行けそうである。図1のC点近傍に巴鉱山があった。シラニ沢の上流には日耐河内鉱山があった。この廃鉱山を探索する方が面白いかも知れない。

鉱山跡写真



写真1 図1のA点の所である。現在の関白鉱山へ、150号から入っていく道となる。が、直ぐに現業の鉱山施設となる。



写真2 休日に訪問した。写真1の所から200m～300mほど緩やかな道路を上りきると、展望台があり、ここから露天掘り現場を見学することができる。



写真3 展望台から、露天掘りの底を覗く。巨大な露天掘り現場である。ショベルカーなどは芥子粒に見える。これほどの露天掘りは岩手県の大峰鉱山跡（本探査記で紹介済）で見ただけである。それより大きい。図3の現地の地質図には、鉱石のカオリン脈が記載されている。それと対照させてみるのも面白い。



写真4 図1のB点の所である。少し先に適当な駐車場がある。



写真5 C点付近である。完全に錆び付いたショベルカーが、疲れ切ったように頭を垂れていた。周りには廃鉱山施設が点在していた。巴鉱山跡であろう。この先の前方に関白鉱山の、先ほどの露天掘りの大穴がある。

採集鉱物写真

簡単にカオリナイトは採集できなした。カオリナイトには申し訳ないが、それ程の標本ではないので、写真は未掲載。

追記

交通至便なので、鉱山の見学には、良い所と思う。会社連絡をして許可を取り、生徒などの研修・見学の目的地にして欲しいものである。

参考文献

(1)「栃木県日耐河内・巴および関白カオリン鉱山カオリン鉱床調査報告」、種村 光郎、地質調査所月報(第5巻、第12号)、647頁～656頁、昭和28年(1953年)年5月調査。